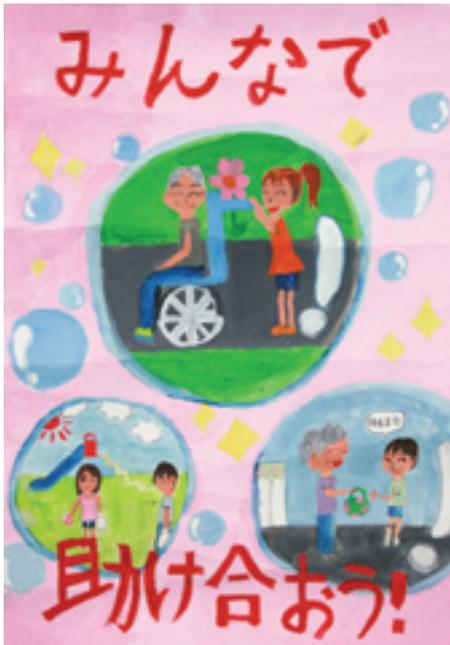




社協

YOKOSHIBAHIKARI

よこしばひかい



日吉小学校 4年
土屋 美咲

ポスター
特選

第5回

福祉のまちづくり

標語・作文・ポスター入賞作品



横芝中学校 1年
佐久間 倫美

ポスター
特選



標語 特選

光中学校 2年 椎名 冴



話し合い 助け合い 思い合い
合い（愛）があふれる
このまちに

入賞作品一挙に紹介!

社会福祉協議会では、「ふれあいと支え合いの精神に満ちた心豊かな福祉のまちづくり」を進めるため、福祉教育の一環として町内小・中学校児童・生徒から標語・作文・ポスターを募集したところ、総数824点の作品が寄せられました。

応募いただいた作品の中から、各部門別に特選・入選・佳作の入賞作品が決定しました。

作文特選

横芝中学校 3年

内田 菜摘



『私と福祉』

小学生の頃、施設や町の中でよくある標識や点字ブロックなどを見ると、「これって一体何のためにあるのかな」と疑問に思うことがありました。実際、普段自分たちが使うことなんてないのに、何でだろうと少し気になっていました。親や先生からこのようなものについて話を聞くと、これは高齢者や障害者、妊婦さんのためにあると教えてくれました。それは『バリアフリー』といって障壁を

なくし、普通の人と同じように生活ができるためのものだということでした。最近では『福祉』という言葉をよく耳にしますが、その言葉には「幸せ」や「幸福な社会」という意味があるそうです。人は皆平等に生きているのだから普通のひとと障害を持った人で差別などは絶対にあってはいけないことなのです。

私の家の近くには、「坂田苑」という老人介護施設があり、そこにはたくさんの高齢者の方が入所されています。私は、中学1年生のとき、そこで一日職業体験をしました。食事の手伝いをしたり、移動を手伝ったり、お年よりを楽しませたりといろいろな体験をすることができました。途中、施設の中を見せていただけるということと、担当の方にお話を聞きながら案内していただきました。その中にはもちろん普段みかけるものもありましたが、老人介護施設にしかないようなお風呂やトイレ、車など初めて見るものがたくさんありました。これも全て『バリアフリー』なのです。確かに体が不自由な人はどうやってお風呂に入ったり、車に乗ったりするのかと思うこともありましたが、お風呂の中に椅子があつて手すりがついていたり、車に乗るときは、車椅子ごと台の上に乗せてそれをボタンで操作していたりと、その方の状態にあった対応をしてくださる印象に残っています。

今、日本でとても問題になっている「少子高齢化」、収入のない高齢者が増え、働かなければならない若者が減ってきているのです。そのために世話をしてくれる人がいなくなった高齢者は施設に入るため、このような施設が増えてきているのです。私が買い物や電車に乗ったとき、一人でいる高齢者を見かけることが多くなりました。また、最近のニュースでは、日本中のいろいろな地域でたくさんの高齢者が行方不明という話を聞きます。日本は世界一の長寿国と言われていますが、このままだったらこの先とても大変なことになってしまわずです。必要な若者が減ってきているのには理由もあるかもしれないですが、もしそのまま若い人たちが誰も高齢者の世話をしなかったら、もちろん年をとった高齢者は死んでしまいます。でも高齢者だって生きているのだから、大切な命を無駄にしてはいけません。「誰が」ではなく、私たちからでもできることはきつとたくさんあります。まず気づいた人から手を差し出して下さい。『福祉』という言葉のとおり、お互いに幸せな社会が見えてくるでしょう。



ポスター 入選

大総小学校 3年
伊藤 恵利



ポスター 入選

横芝小学校 6年
若梅 里奈



作文 入選

横芝小学校 5年
千葉 圭典



『ぼくの父ちゃん』

ぼくの父ちゃんは大工です。ぼくは夏休みに父ちゃんの働く現場に手伝いに行くことがありました。ぼくは休憩時間に父ちゃんのマネをして余った木をノコギリで切ったり、釘を打ち込んだりしたけど、父ちゃんのようにうまくできません。木材と工具で簡単に家を建ててしまう父ちゃんはすごいと思います。

だけど、そんな父ちゃんの手には少し障害があります。ぼくが三才の時、作事中に機械で右手の指を切断する大けがをしました。診察の結果、人差し指は再生が難しいと言われたそうです。そして、十時間に及ぶ手術は成功したものの、父ちゃんは以前のように指を

動かせなくなりました。

父ちゃんは利き手をケガしてしまったため、ご飯を食べるのも字を書くのも、生活の全てが不自由になりました。当然、仕事もできません。このまま仕事を辞めてしまおうかと悩み、辛いリハビリに涙を流したこともあったそうです。それでも父ちゃんはあきらめませんでした。その時、父ちゃんは二つのものに支えられていました。

一つ目は父ちゃんの夢です。父ちゃんは、手を治してもう一度お客さんに喜んでもらえる家を建てるという夢を抱いていたそうです。だから、辛いリハビリにも絶えて、絶対にあきらめませんでした。ケガから復帰して家を建てた時、本当にうれしかったと言っていました。

二つ目は家族です。父ちゃんの手がまだ十分に動かないとき、父ちゃんを支えたのはお母さんなんです。そして、まだ小さかったぼくやお兄ちゃんのために頑張って働かなくてはと強く思ったそうです。こうして父ちゃんは家族にも支えられていました。

もしもぼくが父ちゃんだったら、辛さに絶えられず投げ出してしま

うと思います。あきらめないで自分のため、自分の家族のためにそこまで頑張れる父ちゃんは本当にすごいと思います。

ぼくはたまに、父ちゃんの手をマッサージしてあげます。マッサージすると、

「あー。そこいいねえ。気持ちいいよ。」

と言つてとても喜んでくれます。父ちゃんに喜んでもらえるとおぼくもうれしくなります。父ちゃんの手が少しでもよくなると思うと、マッサージする手にも力が入ります。

最近ぼくは、何か困難なことがあるとすぐにあきらめて逃げていました。でも、父ちゃんの話聞いて、ぼくも父ちゃんみたいに、どんな困難にもあきらめないで努力しようと思いました。もし、何かで困っている人がいたら、手を差しのべるのできる人になりたいと思いました。



標語 入選 南条小学校 6年 須合 紘平



生き生き あいさつ
心をつなぐ
町づくり

作文 入選

南条小学校 6年

小泉 隼太



『みんなの家』を見学して

ぼくの知り合いのおばさんは、月に何度か「ロザリオの聖母会」という福祉施設へボランティアに行っています。「ロザリオの聖母会」には、たくさんの方があって、精神障害の方や身体障害の方、知的障害の方などを支援しています。

ぼくは、福祉作文の宿題をきっかけに、おばさんに施設の見学をお願いしました。

数日後、ぼくはお母さんと一緒に「みんなの家」という施設に行きました。ここは、知的障害があり、社会で働くことが困難な方が、生活技術や職業訓練を受ける

施設です。「みんなの家」に着くと、職員の方々が案内してくれました。中に入ると、みなさんが元気に「こんにちわ」と、あいさつしてくれました。

ここでは、バジルのパック詰め作業をしていました。汚れた葉を取り、決められた重さを量りながら、きれいに詰めていきます。ぼくもやらせてもらいました。簡単なようで根気のいる作業だと思いました。これを、九時から四時まで立ち仕事で行います。みなさん、とても真剣に作業をしていて、「疲れた」などと言う人は誰もいないし、おしゃべりもせず、ぼくはその様子にとっても感心しました。

この作業をしている方は、将来的には、一般の会社への就職をめざしているそうです。だから、まず今日の目標数を決めて、頑張ること。仕事の後は、みんなで話し合いをして、ノートに書く。目標の数ができなかった人は、どうしてかを考えようといったように、一般の会社で働いた時に、必要とされることも訓練しているそうです。会社に出す履歴書も自分で書くし、実際就職して社会に出て行か

れた方もいるそうです。

次の部屋では、機械の部品の仕分けや、掃除、ボンドつけなどをやっていました。「やってみる？」と、声をかけてくれた方がいました。その人は手足が不自由でした。お母さんが、「疲れませんか？」と聞くと、「最初はね。でもだいたいぶなれました。」と話していました。そして、仕事のやり方を教えてくれました。

林さんが、「こんなに仕事のできる人達が家にいるのはもったいないよね。」と言って、「障害があってもなくても仕事をがんばろう」という気持ちは同じだよ。」という言葉は心に残りました。

この施設では、もう一つ、パン作りもやっていて、作りたてのパンを販売しています。ちょうどお昼だったので、「どれもおいしそう」と、お母さんはたくさん買いました。レジをやっていた方は、手が不自由でしたが、ゆっくりでもきちんとこなしていました。

ぼくは、今回の見学で多くのことを学びました。

このような施設があったことも初めて知ったし、また障害のある方と近くで話げできたことは、貴重

重な経験になりました。

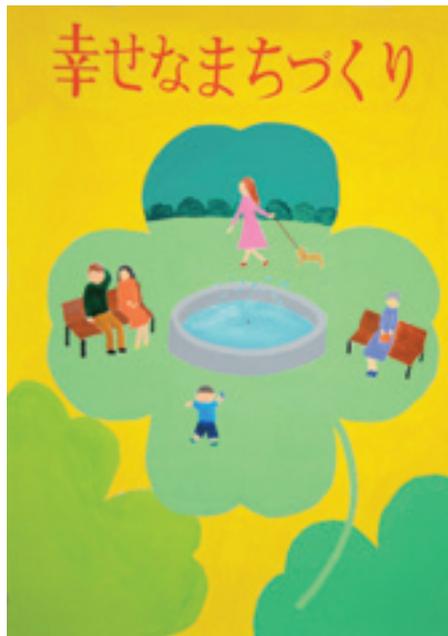
林さんが、「障害があっても、できることを見つけて手助けをする、いつも冷静におだやかな気持ちで接することを心掛けています。」と言ったように、少しでも多くの会社がこのような気持ちで障害のある方を受け入れ安心して仕事のできる環境がふえればよいなど思いました。

そしてまた、ぼくたちも助け合いの気持ちを忘れないということが大切だと思いました。家に帰ってパンを食べました。フワフワでやわらかくて、とてもおいしかったです。

ポスター入選

横芝中学校 2年

伊藤成美



標語入選

東陽小学校 6年 鬼嶋瑞穂

広げよう
心と心の
つながぎ
合い

標語佳作



上堺小学校 2年
早川心渚

標語佳作



日吉小学校 5年
土屋雄大

ポスター佳作



白浜小学校 1年
川野智也

ポスター佳作



日吉小学校 4年
川野恋



ポスター
佳作

横芝小学校 6年
成田 彩 菜



ポスター
佳作

東陽小学校 5年
平山 美 海



ポスター
佳作

上堺小学校 4年
井上 己 新



ポスター
佳作

白浜小学校 4年
平山 陽 馨

ボランティアルームをご利用ください

ボランティア連絡協議会では、様々な活動をする方々の交流や福祉のまちづくりの増進を図るため、ボランティアルームを開設しています。情報の受発信などの拠点としてご利用ください。

- 開設日時：毎月第4金曜日
午後1時30分～4時
- 場 所：社会福祉協議会事務所内 会議室
- 問い合わせ：社会福祉協議会 ☎(80)3611



光中学校
3年
鵜澤 有里

作文
佳作

育てよう福祉の芽 ～福祉体験学習会開催～

町内小中学生36名が参加し、午前中は身体障害者支援施設「聖マーガレットホーム」で施設見学・入所している方との交流を行い、午後は日本介助犬協会の方と介助犬になるために訓練中のジョイちゃんを招いて障害とは・介助犬についてなどを勉強しました。

車いすの方が物を落としてしまうと自分では拾えない場合があります。そんな時介助犬が拾うのです。他にも冷蔵庫から飲み物を取ってきたり、靴下を脱ぐのを手伝ったりもします。誰かに頼むのをためらってしまうようなちょっとしたことを介助犬が補ってくれるのです。体の不自由な方には介助犬、目の見えない方には盲導犬、耳の不自由な方には聴導犬。そんな補助犬ですが、まだまだ数は足りません。育成するにはお金も時間もかかります。それでも補助犬を必要としている少しでも多くの方に補助犬を届けられるといいですね。



ふれあいサロン1号店 開店!

①「ふれあいサロン」って何?

少人数の参加者が歩いていける場所で、ボランティアと参加者が共同企画・運営をして楽しい仲間作り活動をいたします。

②どのようなことをするの?

これをしましょう!という取り決めはありません。食事・茶話会・おしゃべり・ゲーム・健康チェック・体操・カラオケ・手芸・散歩など…

③どんな人が参加できるの?

サロンの内容により異なりますが、今年度は地域にお住まいの方なら誰でも参加OKです。

はしばふれあいサロンが11月9日(火)開店しました。

東陽地区社会福祉協議会の橋場地区に住んでいる役員の方々が中心に開催した今回のサロンは、橋場地区にお住まいの方20名の参加者のもと、お茶やお菓子を食べながら、手品を見たり、血圧測定・健康相談、などももちろん橋場にお住まいのボランティアの方々の協力を得て行いました。参加した方々は、「サロンってどんな事をするのか分からなくて、友達に誘われたので参加したけど、同じ地区に住んでいても知らない方がいて今日お友達になった方もいました。



一緒におしゃべりしたり、手紙で分からない所を親切に教えてもらったので助かりました。また次回も参加します。」と、嬉しい(^ー^)ことを言っていただきました。今後、町社会福祉協議会としては、東陽地区だけでなく各地区・行政区毎に開催できるよう考えています。

ご協力いただけるボランティアさん等いらっしゃいましたら、ご連絡いただきたいとおもいます。

〇問い合わせ先：社会福祉協議会 TEL (80) 3611

成年後見制度研修会のお知らせ

県民や福祉関係者等を対象に成年後見制度の概要や職務を学び、制度の利用促進を図ることを目的に開催

日時 平成23年1月30日(日)
9時50分～16時30分
会場 千葉市蘇我勤労市民プラザ
(蘇我駅西口から徒歩5分)
定員 350名(申込先着順)
申込 申込書をFAXかE-mailで送信
締切 平成23年1月21日(金)必着
※手話通訳等配慮が必要な方
平成23年1月7日(金)必着
資料代 1,000円

申込書配布場所
○各市町村社会福祉協議会及び行政機関
○千葉県社会福祉協議会
○千葉司法書士会のHPからもダウンロードできます。
申込・問い合わせ先
〒260-8508
千葉葉市中央区千葉港4-3
千葉県社会福祉協議会千葉県後見支援センター
TEL 043(204)6012
FAX 043(204)6013
E-mail smile@chibakenshakyō.com

手作りちらし寿司でおもてなし



○大総地区

「大総地区福祉のつどい」

7月27日(火) 町文化会館で103名の参加者のもと開催されました。当日は、地区社協役員による手作りちらし寿司がふるまわれ、参加した方々からは、「おいしい。」「これを楽しみにしていたんだよ」と皆さん口々に言ってくれました。

また、演芸の部では、ボランティアによるカラオケや舞踊・よさこいソーラン等が披露され大盛況に終わりました。

暑いかなんて負けないぞー!

○横芝地区

「ふれあいグラウンドゴルフ大会」

7月10日(土) 素晴らしい天候のもと、第13回横芝地区ふれあいグラウンドゴルフ大会が126名の参加者のもとふれあい坂田池公園陸上競技場を会場として開催されました。

この大会は、横芝地区の小学生から高齢者まで幅広い年代の方々にグラウンドゴルフを楽しみながら親睦と交流を図り、地域の絆を深めていただくことを目的に毎年開催されています。当日は、ホールイン



とってもおいしかった ○横芝地区「栗山分会ふれあい食事会」

10月18日(月) 健康づくりセンター「プラム」にて、栗山地区にお住まいの75歳以上の方を対象にふれあい食事会が開催され69名の参加がありました。昼食には鶏肉の炊き込みご飯と豚汁がふるまわれ、午後は、参加者の皆さんによるカラオケや婦人会の方々による踊り等の演芸で楽しい一時をすごしました。参加した方々からは、「たのしかった! また来ます。」の声がありました。



上手にできたよ

○東陽地区 「七夕馬づくり」

7月6日(火) 東陽小学校4年生を対象に地域伝承教室「七夕馬づくり」を実施しました。講師に萩原次朗氏(上町在住)を迎えて午前中に役員が作り方を教えていただき、午後からは、役員が児童に作り方を伝承しました。参加した児童は、器用にペンチとニッパを使って馬を作っていました。できあがった馬を見せ合いながら七夕の日に飾ろうと言っていました。



地域のふれあい活動

(地区社協の巻7)

上手にできたよ

○日吉・南条・白浜地区

「災害ボランティアスクール」

7月14日（水）南条小学校6年生を対象に、11月16日（火）日吉小学校5・6年生を対象に、11月17日（水）白浜小学校5年生を対象に災害ボランティアスクールの開催しました。ハイゼックスを使っての炊き出し体験では、大きな釜にビックリしていました。



日吉小学校

また、匝瑳市横芝光町消防組合の方を講師に迎え、「わたしたちができること」と題し、三角巾の使い方やケガの対処方法、簡単に作れる担架等を教えていただきました。もしもに備えて、子ども達も真剣な眼差しで体験学習をしていました。



白浜小学校



南条小学校

日吉・南条・東陽・白浜地区社会福祉協議会合同開催事業

生き生きスポーツ大会

10月28日（木）雨の中日吉小学校の協力のもと315名の参加者によって開催されました。

小雨が降りしきる中日吉小学校児童による鼓笛演奏での入場行進で開会した本大会は、競技開始時には大雨となってしまう、日吉小学校児童と一緒にいった「やったぜ母ちゃん。今夜のご飯は鰻丼だ！」の1種目のみで中止となってしまいました。



この競技は、児童と参加者が一緒に夕ライの中の鰻を素手でつかむ競技でしたが、鰻を触ったことのない児童がなかなか鰻を捕まえられずいたり、途中でよろよろと逃げ出す鰻に悪戦苦闘している姿に笑い「ほら、頑張れ」と声援が…

雨で残念な結果となってしまった大会でしたが、参加した皆さんからは、「又来年もやってね。それまで元気であるからね。」と温かい声を掛けてくれました。



ご存知ですか？

こんなときどうしたらいいの？ どこに相談すればいいの？ 法律的には？
些細なことだけど、誰かに聞いてほしい。

そんな時には心配ごと相談所へ！

一般相談

開設日 毎月第2火曜日
午後1時30分から4時
場 所 文化会館

法律相談

開設日 毎月第1・第3火曜日（要予約）
午後1時30分から4時（1組30分）
場 所 第1火曜日 文化会館
第3火曜日 町民会館

相談は無料で秘密は守られますので、お気軽にご相談ください。
※問合せ・予約 横芝光町社会福祉協議会 ☎(80) 3611



地域の福祉みんなで参加



赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金

社会福祉協議会では、10月1日から12月31日までの間、赤い羽根共同募金と歳末たすけあい募金運動を実施しています。これらの募金は、子どもやお年寄り障害者のために使われています。ご理解をいただき、ご協力をお願いします。



お年寄りのために



障害者のために



子ども達のために

10 /	9 /	9 /	8 /	8 /	8 /	6 /	5 /	4 /	4 /	4 /	4 /	3 /	3 /	3 /
14	30	2	19	17	9	24	27	28	16	16	15	17	15	12
空の 日成田地区 実行委員会様	稔祭 実行委員会様	光 ライオンズクラブ様	千 葉土建山武支部	大 総ゴルフ倶楽部様	ル アナーアロハフラ様	カ ラオケさくら会様	匿 名	匿 名	千 葉土建山武支部	匿 名	加 瀬栄一様	光 合同書道会様	匿 名	匿 名

社会福祉協議会へ次の方
からご寄付がありました。

**「福祉推進」のため
活用します**

